

情報公開文書

研究課題名	大腿骨骨折の治療に関する検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 整形外科
研究責任者(職名)	江良 允(医長)
研究期間	2019年8月26日 ~ 2020年8月31日
研究目的と意義	大腿骨骨折は術前待期間と予後が関係する事が知られています。海外のガイドラインでは受傷後48時間以内の手術が、本邦のガイドラインでは「なるべく早く」の手術が推奨されています。本研究は当院での大腿骨骨折の治療を振り返り、今後の改善について検討することを目的としています。
研究内容	●対象となる患者さん 2014年4月1日から2020年3月31日までの間に大腿骨の骨折と診断され当院で治療を受けた患者さん全例を対象とします。
	●利用する情報 診断名、年齢、性別、術前合併症、術前内服薬、入院日数、手術日、使用インプラント
	●研究方法 上記の内容をカルテより収集し、下記について検討します。 ・術前待期間、受傷後48時間以内に手術ができなかった要因 ・術後の整復位およびインプラント「の設置位置
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 (内線4122) 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)